

## 第3回山岳自然環境セミナー開催要項



### 主催 山岳団体自然環境連絡会

〔主催者構成メンバー：

(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会、

日本勤労者山岳連盟、

(公社) 日本山岳会、

(NPO 法人) 日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、

(公社) 東京都山岳連盟、

(公社) 日本山岳ガイド協会、山はみんなの宝クラブ〕

### メインテーマ：「山は誰が守るのか～山小屋から見た山の環境～」

山を舞台にした登山は世代を超え、様々な利用形態の広がりの中が多様化し拡大の方向となっています。多くの人が山を気軽に親しめるようになった反面、誰が山の自然環境を守り、誰が登山道を維持管理するのか、誰がその費用を負担するのか、私たち登山者は深く考えず歩いています。

本セミナーは、宿泊施設の提供、登山道の維持管理、遭難者の救助活動、自然環境の保全など、登山者が安全・快適に山を楽しめるサービスを提供してきた山小屋の公共的な役割の現状と課題を議論し、誰がどう山岳の環境を守るのかを考えます。

これからの山の適正な利用のあり方や、山の自然環境保全を考える良い機会であり、多くの方のご参加を期待します。

#### 記

◆日程：2020年3月29日(日)13時～17時

◆開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟 401号室  
(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1)

#### ◆主要行事：

◎基調講演：「日本の山が危ない～登山の経済学～」

講演者 週刊ダイヤモンド編集部

鈴木洋子

◎ディスカッション：「山の保護と利用に、山小屋、登山者、行政のできること」

(1)パネリストからの報告

①「ミツ峠での自然保護活動の歩み」ミツ峠山荘

中村光吉

②「山小屋の現場から見た登山の現状」殺生ヒュッテ

山本さよ子

③「山岳利用の現状と課題」環境省自然環境局自然環境情報分析官

徳丸久衛

(2)討議&質疑応答：(モデレータ)日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト

張 晶子

◆参加費(資料代)：700円(学生無料)

◆参加予定人数：100人

#### ◆申し込み先：

・埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の会員、個人会員の参加者は、  
埼玉県山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員長：増田 修 宛

E-mail [osamu\\_masuda\\_desk@yahoo.co.jp](mailto:osamu_masuda_desk@yahoo.co.jp)

にて、氏名、所属団体名、連絡先をお知らせください。

・締切 2月末日頃



## 詳細 プログラム

2020年3月29日（日）13時～17時

1. 12:30 受付開始
2. 13:10～13:15 開会挨拶
3. 13:15～14:00 <基調講演>  
「日本の山が危ない～登山の経済学～」  
週刊ダイヤモンド編集部 鈴木洋子
4. 14:00～14:10 休憩
5. 14:10～15:40 <パネリストからの報告>  
\* 14:10～14:40 「三ツ峠での自然保護活動の歩み」  
三ツ峠山荘 中村光吉  
\* 14:40～15:10 「山小屋の現場から見た登山の現状」  
殺生ヒュッテ 山本さよ子  
\* 15:10～15:40 「山岳利用の現状と課題」  
環境省自然環境局自然環境情報分析官 徳丸久衛
6. 15:40～15:50 休憩
7. 15:50～16:40 パネルディスカッション  
テーマ：「山の保護と利用に、山小屋、登山者、行政のできること」  
モデレータ 日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト 張 晶子
8. 16:40～16:45 閉会挨拶

\*都合により、プログラムの内容が変更となる場合がございます。